

報道機関 各位

## いきいき市民活動情報

栃堀巢守神社毘沙門天裸押合大祭実行委員会からおすすめのイベント情報が寄せられました。

については、下記のとおり概要をお知らせいたしますので、周知にご協力いただきますとともに、ぜひ、長岡市民の「市民力」や「地域力」を生かした活動を、貴社で取材くださいますようお願いいたします。

標 題	<b>400年の伝統。熱気に満ちた迫力のぶつかり合い！ 栃堀巢守神社裸押合大祭を開催</b>
日 時	2月8日（土） 神事：午後6時20分～ 裸押し合い：午後7時～8時30分
場 所	長岡市栃堀 巢守神社（長岡市栃堀2768） ※受付と支度会場は、栃堀ふるさと交流会館（栃堀4344番地）
内 容	<b>祭りの概要</b> この祭りは、天正年間（1570年代）、戦国の武将、上杉謙信公が崇敬した毘沙門天を栃堀巢守神社に祀り、戦勝祈願、五穀豊穰を願ったのが始まりと伝えられています。 下帯一本にわらじ履きの男衆が、20キロの大ローソクを先頭に本堂になだれ込み、「サンヨー！（撒与）、サンヨー！」「押ッセ！、押ッセ！押ッセヤイ！」の掛け声とともに、体をぶつけ合います。 その押し合いの最中に天窓から撒かれる福札を奪い合う勇壮な祭りです。 また、境内の湧き水に体ごと飛び込む姿は、祭をいっそう盛り立てます。  <b>参加者</b> 約100人（令和6年実績） <b>参拝者</b> 約800人 <b>主 催</b> 栃堀巢守神社毘沙門天裸押合大祭実行委員会 <b>その他</b> 押し合いに参加を希望する方は、当日ふるさと交流会館（支度会場）へ直接お越しください。
問 い 合 わ せ	栃堀区事務所 TEL0258-52-3521（平日午前のみ）
情 報 提 供 課 名	栃尾支所商工観光課 桐生 TEL0258-52-5827

冬は寒く、雪は冷たい。だが、俺たちは熱い！

令和7年版

とちほりすもりじんじゃはだかおしあいたいさい

# 栃堀巢守神社裸押合大祭

**期日 令和7年2月8日(土)**

《毎年、2月の第2土曜日》

**時間 午後7時から午後8時30分まで**  
(神事=午後6時20分から)

**場所 長岡市栃堀 巢守神社 (栃尾地域)**

《参加・参拝見学のお問い合わせ》

栃堀ふるさと交流会館 (栃堀区事務所)

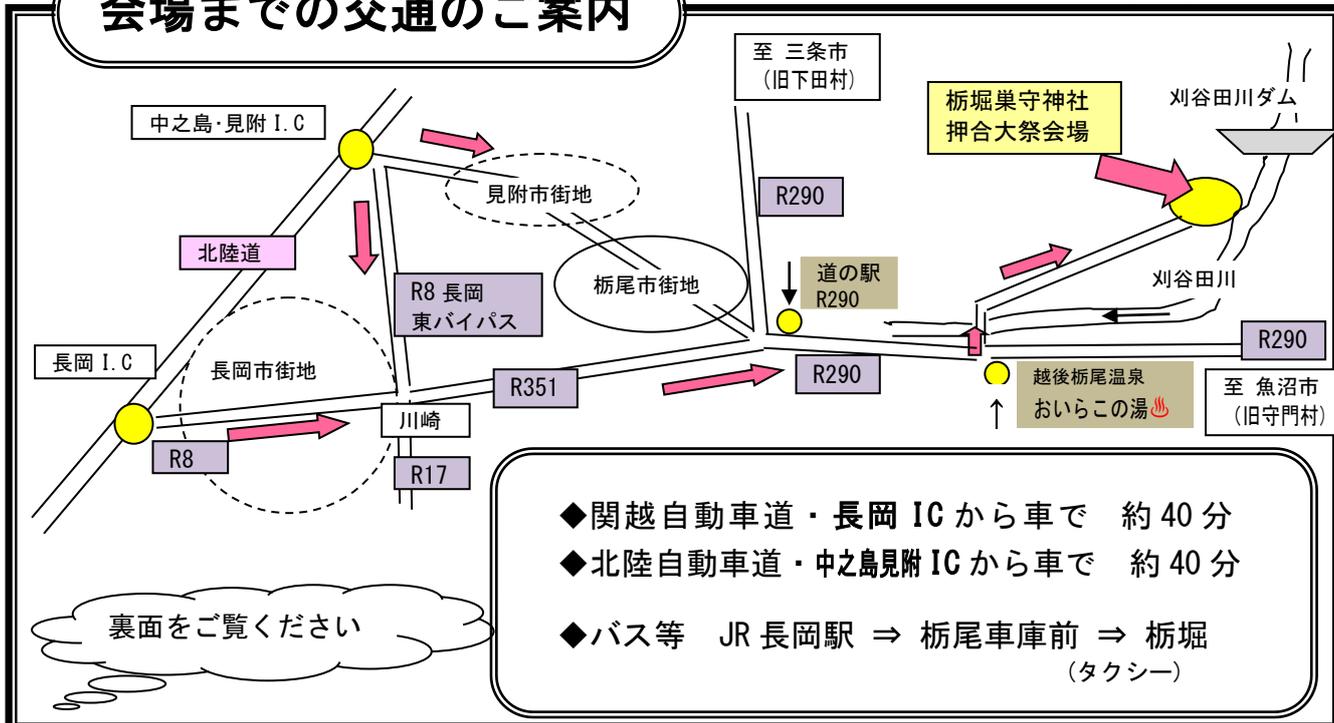
住所 新潟県長岡市栃堀4344番地

電話 0258(52)3521※

※平日の午前中 連絡可



## 会場までの交通のご案内



# 栃堀の巢守神社裸押合大祭のいわれは？

天正年間（1570年代）、戦国の武将、上杉謙信公が崇め奉った毘沙門天を栃堀巢守神社に祀り、戦勝祈願、五穀豊穰を願ったのが始まりと伝えられています。

南魚沼市浦佐の裸押合大祭と双子の関係で、御本尊の御神木は、同じ椿の木で作られていて、栃堀は根元の部分を、浦佐は木の上の部分を使ったと云われています。

下帯一本にワラジ履きの男衆が、20kgの大ローソクを先頭に本堂になだれ込み、「サンヨ！（撒与）、サンヨ！」「押ッセ！、押ッセ！押ッセヤイ！」の掛け声とともに、ほてった体をぶつけ合います。その押し合いの最中に270枚の福札が天窓から撒かれ、それを奪い合う勇壮な祭りです。また、境内にある湧き水に体ごと飛び込む姿は、祭りをいっそう盛り立てます。祭り好きの方は、ぜひ、一度参加してみてください。年齢制限はありません。



撒かれた福札を懸命に奪い合う。ときには、はじかれた福札が、見物者の元に・・・その福札は、もちろん、見物者の戦利品です。押し合い終了後、景品と交換してください。

飛び込むべきか、それとも左足からそと・・・かな？

押し合い、福札を奪い合って、ほてった体を境内の一角にある湧水でお清め。

厳寒期にもかかわらず、水を浴びる勇姿をぜひご覧ください。

むしろ、見学者の方が、寒く感じているのかもしれない。

地元では、この大きな1枚岩をくり貫いた石舟を「ハンド石」と呼んでいます。



参拝・見学の皆様にも、福引、甘酒等を用意してお待ちしております。

## 【参加したい方へご案内】 ※詳しくは、お問い合わせください。

- ◆ 会場 栃堀ふるさと交流会館（栃堀区事務所）  
午後6時頃から係員が支度のお手伝いをします。  
※直接、支度会場にお越しください。受付があります。
- ◆ 用意するもの サラシ布半反（下帯）、わらじ、軍足（素足は危険です）、手ぬぐい  
※当日、希望者には支度会場にて4点セット2,000円で販売しています。

270枚の福札を 終了後、支度会場ですべて品物と交換します。福札の交換景品には、ご利益金盃、商品券、家電製品など盛りだくさん用意してお待ちしています。